

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和4年 12月 21日

事業所名 ホッグ東住吉

| | | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標 |
|----------|---|--|----|-------------------------|--------------------------------|---------------------------------------|
| 環境・体制整備 | 1 | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である | ○ | | 蜜を避けるため活動を分ける工夫をしている | より広い室内スペースの確保が課題と考えています |
| | 2 | 職員の配置数は適切である | ○ | | 児童の特性や性別に合わせ配置しています | 職員数だけでなく様々な資格や経験を持った職員を配置するよう心がけていきます |
| | 3 | 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている | ○ | | 室内の段差などはないようにしています | 引き続きバリアフリーであるようにしていきます |
| 業務改善 | 4 | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している | ○ | | ミーティングの頻度を上げ多くの職員が参画するようにしています | 新しい知識を取り入れることによってよりの確なサイクルとなるようしていきます |
| | 5 | 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている | ○ | | アンケートを実施しています | 保護者様の評価やニーズの把握は今後も注力していく必要があると考えています |
| | 6 | この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している | ○ | | ホームページにて掲載しています | ホームページの認知に改善の余地があり検討していきます |
| | 7 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている | | ○ | 現時点では評価には至っていません | 今後も引き続き導入を検討してまいります |
| | 8 | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している | ○ | | 外部研修を積極的に取り入れています | 研修参加への時間確保とコストが課題となっています |
| 適切な支援の提供 | 9 | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している | ○ | | 定期的にかつ細かくアセスメントを取れています | 家庭や学校での様子を詳しく把握すること |
| | 10 | 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している | ○ | | 使用できています | 様々な視点でアセスメントを取るよう今後もしてまいります |
| | 11 | 活動プログラムの立案をチームで行っている | ○ | | 様々な職員が立案するようしています | 障がい特性が大きく違うため活動内容の幅を広げていきます |
| | 12 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫している | ○ | | 児童により取り組みを変えています | より様々な障害特性に合ったプログラムになるよう心掛けてまいります |
| | 13 | 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している | ○ | | 児童の特性に応じて支援しています | 障がい特性により集団活動が難しく課題としています |
| | 14 | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している | ○ | | 各児童の障がい特性に合わせて作成しています | 障がい特性が大きく違うため集団活動における内容を検討いたします |
| | 15 | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している | ○ | | 随時共有できるようにしています | 勤務数により以前の様子などの把握を課題です |
| | 16 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している | ○ | | 共有できていると思います | 共有レベルを上げることを課題とします |
| | 17 | 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている | ○ | | 日々の記録を保護者に確認してもらっています | 記録に時間が掛かりすぎる点が課題と考えています |
| 18 | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している | ○ | | 定期的にモニタリングを実施し判断ができています | 引き続き継続していきます | |
| 19 | ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている | ○ | | 自立支援を念中心に支援しています | 地域交流の機会が無く今後の課題と考えています | |

| | | | | | | | |
|--------------|----|---|---|---|---------------------------|---|-----------------------------------|
| 関係機関や保護者との連携 | 20 | 障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している | ○ | | 児童担当職員も同席するようにしています | 担当者会議での発言や他機関とのコミュニケーションを向上させることが課題としています | |
| | 21 | 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている | ○ | | 積極的にコミュニケーションを取るようになっています | 情報共有は保護者を通じての場合もあり、学校により連携に課題おもあります | |
| | 22 | 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている | | ○ | | 対象児童の在籍がありません | |
| | 23 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている | ○ | | | 担当者会議等を実施し連携しています | 引き続き継続していきます |
| | 24 | 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している | ○ | | | 担当者会議等を実施し連携しています | 引き続き継続していきます |
| | 25 | 児童発達支援センターや発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている | ○ | | | 研修参加を積極的に行っています | 情報共有や連携については機会に応じて行っている |
| | 26 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある | | ○ | | 交流する機会がありません | コロナ禍もあり交流の機会が得られていません |
| | 27 | (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している | ○ | | | 地域の連絡会への参加をしています | 今後も積極参加をしております |
| | 28 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている | ○ | | | 様々な手段にてご相談などにて共通理解を図るよう心掛けています | 家庭や学校の様子などの把握が課題です |
| 保護者への説明責任等 | 29 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている | ○ | | | ご相談に對してできる限りの助言を行っております | 児童の様々な状況からさらに助言できる体制づくりを心掛けていきます |
| | 30 | 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている | ○ | | | 丁寧な説明を心掛けています | 引き続き丁寧な説明をしていきます |
| | 31 | 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている | ○ | | | ご相談に応じて出来る限りの助言などを行っています | 有効な助言ができるために知識や経験を増やすことが課題と考えています |
| | 32 | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している | | ○ | | 現在父母の会などを行っていません | 現在は保護者会等は設けていません。今後の課題といたします |
| | 33 | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している | ○ | | | 迅速に対応するよう心掛けています | 職員個々の対応スキル向上に努めます |
| | 34 | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している | ○ | | | 会報等は発信できていません | よりわかりやすく発信できるよう努めていきます |
| | 35 | 個人情報に十分注意している | ○ | | | 十分に注意し取り扱っております | 引き続き注意してまいります |
| | 36 | 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている | ○ | | | 保護者様にに応じて様々なツールを使用しています | 特性に合ったツールの更新などを検討してまいります |
| | 37 | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている | | ○ | | 外部招待などは行っておりません | プライバシーを確保しつつ検討してまいります |

| | | | | | |
|---------|----|--|---|------------------------------------|-------------------------------|
| 非常時等の対応 | 38 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している | ○ | マニュアルに工夫し周知するよう努めています | 保護者の方に周知出来ていない部分もあり課題としております |
| | 39 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている | ○ | 様々な有事を想定し実施しています | 訓練に慣れてしまっている感があり課題と考えています |
| | 40 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている | ○ | 研修や勉強会をおこなっています | 新しい職員への研修機会確保に努めます |
| | 41 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している | ○ | 対象となりうる場合は支援計画に入れ、かつ保護者への説明を行っています | 記載内容がよりわかりやすよう取り組んでいきます |
| | 42 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている | ○ | 食事時など十分に注意し対応しています | 引き続き注意深く対応してまいります |
| | 43 | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している | ○ | 閲覧できる状態にしています | 職員により記載頻度が違い、認識の標準化が課題と考えています |